

信念持った人に1票



—お母さん同士の「女子会」を開いている

2カ月に1度、田辺市内の喫茶店や公民館で「おしゃべり女子会」を開いています。20人ほどが集まり、キーキとお茶を囲みながら思い思いの話をしますが、あえて政治や選挙の話もします。

—「あえて」とは

友だちとの話題は子育てのささいな悩み。政治の話はほとんどしません。消費税が8%に上がった時でさえです。政治の話になると口をつくむ傾向がある。だったら「そ」政治のことをしゃべろう」と決めれば、気兼ねなくしゃべれるんじゃないかって。

—なぜ話題にしにくい

「語れるほど知らない」ことが大きい。女子会の中には選挙に行ったことがない人も。話すうちに「私なんてこんなこと知

立候補予定者にアンケート 小池 佳世さん(41)



こいけ・かよ 1973年、田辺市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。夫と2歳の長男と同市に暮らす音楽家。母親の交流の場や、戦争体験者から話を聞く会などを開く。昨年3月にはママ友と「9条MamaNetキョット」を作った。

らんかったの」と驚く人が多
い。子どもを持ち「この子を育
てていくため、私自身が世の中
のこを見つめ、ちゃんとした
選択が出来る大人にならなあか
んと思った」と話す人もいまし
た。

—県議選の立候補予定者に
アンケートをした

女子会で素朴な疑問を出し合
い、「子どもの医療費無料化」
「学校の統廃合」「原子力発
電」など11項目の質問を用意し
て、メンバーが住む田辺市や日

高郡、西牟婁郡の3選挙区から
県議選に立候補予定の計10人に
アンケートをしました。

—経緯は

普段は「県議会だより」を読
んで議会で決まったことを知
る。確かに議決の結果は載って
いる。でも発行回数はいくつか
少ない。どんな議論をしたのか、誰
が賛成・反対したとか議論の中
身が欲しい。その方が議員も責
任を持った議論をしてくれるの
では。

子育て世代って結構忙しく
いる。でも発行回数は少ない
し、どんな議論をしたのか、誰
が賛成・反対したとか議論の中
身が欲しい。その方が議員も責
任を持った議論をしてくれるの
では。

て、新聞も読めないくらい。じ
つくり考えた情報を得たりす
る時間も少ない。でも「知らない」
で済ませてはいけな思
う。

—だったら自分たちで調べ
よう

そう。私自身、前回の統一選
では誰に入れたらいいか全くわ
からなかった。でも、全候補者
の演説を聴きに行く余裕はな
い。ほかのメンバーも同じで、
「だったら聞いてみよう」と。

—結果は

アンケートは選択式で自由回
答欄もつけました。自由に補足
説明する候補者も多かった。考
え方がわかったし、回答から知
ったことも多かった。メンバー
は「ようやく投票に行ける。誰
に投票すればいいかわかった」
と感想を話していました。

—議員に何を託すか

まず、「当選した」全権を委
任されたわけではないと思
う。少数派の意見や反対票もあ
るわけですから。それも踏まえ
誠意のある議論、審議をして欲
しい。その上で、県政だけにこ
だわらず、政治家として国の行
く末に確固たる信念を持ってい
る人に1票を入りたい。目先の
利益ではなく、10、20年後の和
歌山や国の姿を考えてくれる方
に託したいです。

(聞き手・加藤美帆)